

養父市 定例記者会見

日時：平成30年9月10日 午前10時00分から

場所：養父市役所 第1会議室

1 発表事項

資料番号	発表事項	発表者	開催日
1	養父市女性農業者ネットワークにおける近畿農政局男女共同参画優良事例表彰について	農林振興課	
2	おおやアート村BIGLABO企画展「SOKOギャラリー—2人の木の造形-松田一戯・池田丈一」について	大屋地域局	
3	「第12回あけのぺー円電車まつり」について	大屋地域局	10月7日
4	やぶパートナーズ(株)元社員の地位確認等請求事件の和解について	企画政策課	
5			
6			
7			
8			
9			

2 資料配布

資料番号	内容	配布元	開催日
1	「但農給食の日」実施について	学校給食センター	9月13日
2	第15回養父市吹奏楽祭の開催について	公民館	9月30日
3	「避難所運営の応援に関する協定書」の締結について	防災安全課	9月13日
4			

養父市記者発表資料(発表・資料配布)

養父市記者発表資料(発表・資料配布)			資料番号
発表日	担当部課(室)名	電話(内線)	発表者職氏名 (担当者職氏名)
9月10日 (月)	産業環境部農林振興課	079-664-0284	課長 池田 雅美 (主事 高階 麻由)
【報道解禁】新聞： 月 日()朝刊 テレビ・ネット： 月 日() 時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

養父市女性農業者ネットワークにおける近畿農政局男女共同参画優良事例表彰について

活力ある農山漁村を実現するためには、農林水産業や農山漁村社会で重要な役割を果たしている女性の参画が不可欠であり、昭和44年(1969年)から行われている“近畿のつどい”(近畿地域の農山漁村女性が一堂に会し、グループ活動等を通じて得た成果や経験について情報・意見交換研究を行い、男女共同参画社会の実現と地域農山漁村の活性化を図るためのつどい)が今年で50回目を迎え、兵庫県で開催されました。

このたび、男女共同参画の実現を目指して経営参画や社会参画等に取り組む個人または組織に対して功績をたたえる「近畿農政局男女共同参画優良事例表彰」に、兵庫県代表として養父市女性農業者ネットワーク(愛称てんこもり母ちゃん)が社会参画部門で選ばれ、当つどいで表彰を受けましたので発表します。

- 1 主催 兵庫県生活研究グループ連絡協議会 兵庫県、近畿農政局
- 2 開催日時 平成30年8月29日(水) 13:30~17:00
- 3 参加者 近畿地域における経営参画と社会参画に取り組む農山漁村女性及び管内各府県関係者等 161名
- 4 内容 近畿農政局男女共同参画優良事例表彰
(受賞者)
 - ①経営参画部門
 - 京都府 加藤 雅美
 - 大阪府 能勢町農産加工連絡協議会
 - 奈良県 辻 公美子
 - ②社会参画部門
 - 滋賀県 中島 一枝
 - 兵庫県 養父市女性農業者ネットワーク
 - 和歌山県 吉本 久美

- 5 推薦理由 ～養父市の未来に向けて女性農業者の声を発信する「てんこもり母ちゃん」～
「農業関連組織の女性会員の連携強化」、「農業に関わる女性の意見集約」、「農業委員等への女性登用」を通じ、養父市の農業振興・農村地域の活性化を図ることを目的に、平成22年に設立。

地域女性農業者等の意見をまとめ、養父市長、養父市農業委員長等に要望書を提出することにより、養父市の農業委員会等への女性登用に尽力した。組織があることで、農業者の個々の思いや提案が見える化し、組織の意見や情報として、行政や関係機関につなぐことが可能となり、農政や地域農業の運営に女性の意見を反映させている。

<問い合わせ・申込先>

- ・朝来農業改良普及センター 担当：蓬萊（ほうらい）・羽瀧（はぶち）
〒669-5202 朝来市和田山町東谷 213-96 TEL 079-672-6890
- ・養父市産業環境部農林振興課 担当：高階（たかしな）
〒667-0198 養父市広谷 250-1 TEL 079-664-0284

(参考資料)

(1) 経営参画部門

女性が自らの意志によって、経営や起業活動、技術分野等へ参画している取組のうち、優れた成果をあげている団体及び個人を優秀賞とし、取組開始から概ね5年以内で今後の成果に期待される取組を実施している団体及び個人を奨励賞とする。

(2) 社会参画部門

農業委員や農協の役員など、地域の生産・生活に関する方針決定の場での活動やよりよい農山漁村の実現を目指し、創意工夫のある活動を通して男女共同参画の推進に資する取組のうち、顕著に功績のあった団体及び個人を優秀賞とし、取組開始から概ね5年以内で今後の成果に期待される取組を実施している 団体及び個人を奨励賞とする。

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
9月10日 （月）	大屋地域局	669-0120	大屋地域局長 向秀樹 （主幹 向井稔）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

おおやアート村 BIGLABO 企画展
「SOKO ギャラリー —2人の木の造形— 松田一戯・池田丈一」について

1 概 要

大型の木彫作品を作り続けてきた松田一戯氏、池田丈一氏、二人の作品の展示会です。

2 趣 旨

大型木彫は展示できる施設も限られ、常設展示ができる施設はごくわずかです。元体育館であった BIGLABO の展示場は大型木彫の展示にはうってつけの施設であり、多くの方にその迫力を実際に感じていただける展示会を目指しています。

3 期 日

平成30年9月15日（土）～平成31年2月11日（月）

4 場 所

おおやアート村 BIG LABO（旧兵庫県立八鹿高等学校大屋校）展示場
兵庫県養父市大屋町加保7番地

5 内 容

四半世紀以上、制作し続けてきた二人の大型木彫は、普段、倉庫に眠っています。一人は新潟県出身の池田丈一氏、大阪在住で兵庫県知事賞など数多く受賞されています。おおやアート村 BIGLABO とは2013年のアートハウス展以来、作品の寄贈をいただくなどご支援をいただいています。もう一人は大屋町出身の松田一戯氏です。兵庫県文化功労賞など数多くの受賞歴を持ち、「木彫のまち大屋」を牽引するおひとりでもあります。お二人の大型木彫を BIGLABO 展示場の広い空間を使って雄大に展示します。

大型木彫の組み立てを実際に体験していただける、ワークショップも9月22日、23日に開催を予定しています。

6 問い合わせ

NPO法人 おおやアート村 理事長 田中今子
TEL 079-669-2449 FAX 079-669-2448

BIG LABO SÔKO ギャラリー

— 2人の木の造形 —

松田一戯・池田丈一

大型の木の造形作品を作り続けてきた二人の作品の展示会です。
大型の作品は普段、それぞれの作家の倉庫(SÔKO)に眠っています。
その作品の一部を展示します。

BIGLABOでは初めての展示となる作品もあります。

皆様のご来場をお待ちしております。

2018年9月15日(土)~2019年2月11日(月)

おおやアート村BIGLABO 展示場



ヨーダ 2003年秋 松田一戯

ワークショップ

大型の作品はどう造るのか？
一緒に大型作品を組み立ててみませんか？

9月

22日(土) 13:00 ~ 16:30

23日(日) 10:00 ~ 16:00

※予約不要



ふれあいの記号 2011-ほっす 池田丈一

木彫フォークアートおおやの世界 ~公募展25回記念展~

2018年11月21日(水)~26日(月)

阪急うめだ本店9F 阪急うめだギャラリー



入場料 一般300円 [200円]・中学生以下150円 [100円] ※ []内は団体料金(15名以上) / 時間 9:00~17:00 (入場は16:30まで)

休館日 水曜日と年末年始(12月29日~1月3日) ※ただし「木彫フォークアートおおや」期間中は開館

主催:NPO法人おおやアート村・おおやアート村BIG LABO / 協力:木彫展示館・木彫同好会・木彫フォークアート友の会

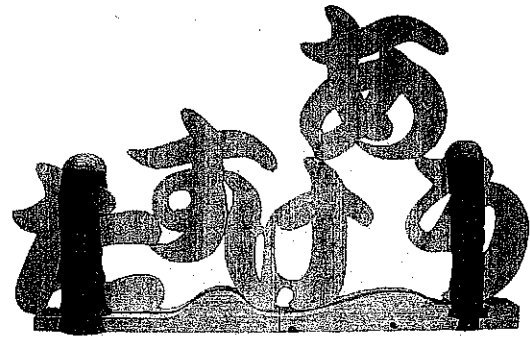
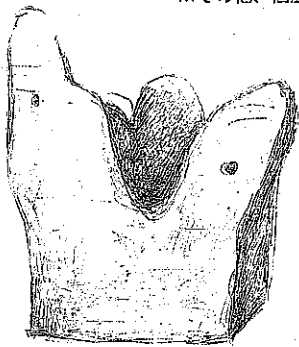
〒667-0315 兵庫県養父市大屋町加保7 / TEL 079-669-2449 / <http://biglabo.com/>



松田一戯プロフィール

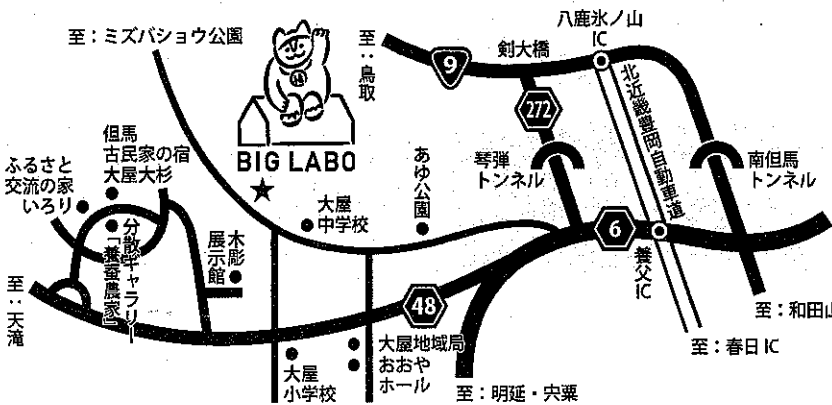
- 1946年 兵庫県養父郡大屋町に生まれる
- 1982年 県展<兵庫県立近代美術館賞>
豊岡市展<市長賞>
- 1983年 ドッキングアート展 (以降1991年まで毎年開催)
- 1985年 豊岡市展<市長賞>
- 1986年 県展<兵庫県立近代美術館賞>
- 1989年 「第2回現代日本木彫フェスティバル」<大賞>
(岐阜県関市)
「兵庫11人の作家たち展」(以後1994年、1996年)
- 1990年 「1990兵庫の美術家展」(神戸市・兵庫県立近代美術館)
- 1992年 「第2回兵庫県新進芸術文化活動」<奨励賞>
「現代日本木彫フェスティバル」<招待>(同1994年)
- 1993年 「六甲アイランド WATER FRONT OPEN AIR 展」
(以後1994年、1996年)
- 1996年 「木の造形旭川大賞展」(北海道立旭川美術館)
- 1997年 朝来2001野外彫刻展公開作成【夢みのりの神】設置
- 1998年 「うちげえのアートおおや」(大屋町・いろり)
(以降毎年開催)
招き猫大賞展(岡山市・招き猫美術館)(同2000年)
- 1999年 <第1回但馬文化賞>
- 2003年 「美術の中のかたち 手で見える造形」(神戸市・兵庫県立美術館)
「第2回あさご芸術の森大賞展」<入選>
- 2004年 <兵庫県文化功労賞>
<半どんの会文化賞>
「コンコン・ボン」出版記念展(養父市・木彫展示館)
- 2008年 「木っ端の音色と木槌の詩 ~松田一戯・京子展~」
(朝来市・あさご芸術の森美術館)
「兵庫県&西オーストラリア州交流国際立体造形展」
(朝来市・あさご芸術の森美術館)
- 2009年 「フランス・バルビゾン&日本・朝来交流国際平面造形展」
(朝来市・あさご芸術の森美術館)
- 2011年 「アート DE わん・にゃん展」
(朝来市・あさご芸術の森美術館)
「但馬木彫展」(京都府南丹市・美山かやぶき美術館)
- 2012年 「ドッキングアート2012」(朝来市・あさご芸術の森美術館)
「BIG LABO Exhibition1,2」(養父市・おおやアート村BIG LABO)
<第1回神戸アートアワード優秀賞>
- 2014年 「現代郷土作家展「生きるものたちへ」(姫路市・姫路市立美術館)
- 2015年 <姫路芸術文化賞>

※その他、個展、グループ展を全国各地で多数開催



池田丈一プロフィール

- 1949年 新潟県に生まれる
- 1972年 京都市立芸術大学 彫刻科卒業
- 1974年 京都市立芸術大学 美術専攻科彫刻専攻修了
- 1974年~2017年 個展51回
- 1982年~1986年 第4, 6, 7, 8回エンバ賞美術展
(エンバ中国近代美術館)
- 1982年・1988年 第14, 17回日本国際美術展
(東京都美術館, 京都市美術館)
- 1983年~1993年 第16, 18, 19, 20, 21, 22回現代日本美術展
「第18回展 千葉県立美術館賞」
(東京都美術館, 京都市美術館, その他)
- 1988年~1992年 第1, 2, 3回現代日本木刻フェスティバル
「第3回展 優秀賞」(関市文化会館)
- 1989年 ポリクロス アート展 (高知県立郷土文化館)
- 1990年・1993年 大阪トリエンナーレ1990, 1993<絵画>
(マイドームおおさか)
- 1992年~1998年 ABC & P | 展<平面>「1998年展 優秀賞」
(ABCギャラリー, その他)
- 1992年~1998年 大阪トリエンナーレ1992, 1995, 1998 - 彫刻
「1992年展 住友海上賞」「1998年展 堺市賞」
(マイドームおおさか)
- 1992年 いけだ彫刻シンポジウム<石彫>(五月山公園, 緑楓台)
- 1993年 第15回エンバ賞美術展<平面>
「大賞、兵庫県知事賞」(エンバ中国近代美術館)
- 1994年 見ること・触れること・現代美術(市立枚方市民ギャラリー)
- 1994年 1第1回木彫フォーカアートおおや
(おおやホール・サンチカ ギャラリー)
- 1994年 ART-EXでデュッセルドルフ(ドイツ)にて滞在制作
ザルツマンパウで個展
- 1996年 ART-EXの作家たち展(大阪府立現代美術センター)
- 1997年 滝畑アートウォーキングで光滝寺、滝畑湖畔にて滞在制作
- 2001年 大阪トリエンナーレ2001(海岸通りギャラリー・CASO)
- 2004年 Artist in Residence at IGA2004(青山町北部公園・青山ホール)
- 2007年~2010年 架空通信「百花繚乱」展(兵庫県立美術館ギャラリー)
- 2012年・2013年 尼崎アートフェスティバル2012(尼崎総合文化センター)
- 2013年 アートハウス展(おおやアート村BIG LABO)
- 2014年~2017年 C.A.F. Nびわこ展(大津市歴史博物館)
- 2015年 エンバ美術コンクールの軌跡展(丹波市立植野記念美術館)
- 2015年~2018年 第61,62,63,64回全関西美術展(大阪市立美術館)





BIG LABO

おおやアート村

〒667-0315 兵庫県養父市大屋町加保7

TEL: 079-669-2449

FAX: 079-669-2448

E-mail: ooyart@biglabo.info

※☾は休館日(祝日の場合は翌日)

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
9月10日（月）	市民生活部大屋地域局	079-669-0120	地域局長 向 秀樹 「鉱石の道」明延実行委員会 小林 史朗
【報道解禁】 新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

「第12回あけのべ一円電車まつり」について

「鉱石の道」明延実行委員会（会長：小林史朗・明延区長）は、10月7日（日）に「第12回あけのべ一円電車まつり」を開催します。

- 1 目的 国の近代化産業遺産である明延鉱山の一円電車、探検坑道、第一浴場、北星長屋社宅などを活かした地域活性化イベントを開催し、明延地域のにぎわいづくりを図る。
- 2 名称 第12回あけのべ一円電車まつり
- 3 期 日 平成30年10月7日（日） 9:00～16:00
- 4 会 場 **【メイン会場】**
一円電車明延線、あけのべ憩いの家、同駐車場
【その他会場】
明延鉱山探検坑道、明延ミュージアム「第一浴場」、北星社宅他
- 5 内 容 **【メイン会場】**
(1) 走れ！一円電車「くろがね号」（一円電車明延線）
(2) アマチュアバンドによるライブ、ダンス、バザー、もちまき（ふるさと交流広場）
(3) ワークショップ ペーパークラフト教室
(4) 空き家活用イベント 明石高専や阪南大学の学生が、バザーや展示を行います。
【その他会場】
(1) 明延鉱山探検坑道見学会
(2) あけのべ探訪スタンプラリー（明延区内5箇所）
(3) 明延鉱山鉱石の展示、鉄道模型の実演展示（明延ミュージアム第一浴場）
(4) 明延鉱山写真、パネル展示（北星長屋社宅）
- 6 主 催 「鉱石の道」明延実行委員会、明延区、NPO法人一円電車あけのべ
(問い合わせ)
「鉱石の道」明延実行委員会事務局
養父市大屋町大屋市場 20-1
養父市大屋地域局内 Tel.079-669-0120
養父市大屋町明延 1184
あけのべ自然学校 Tel.079-668-0258

たまには
ゆっくりいこっ

第

12

回

一

月

電

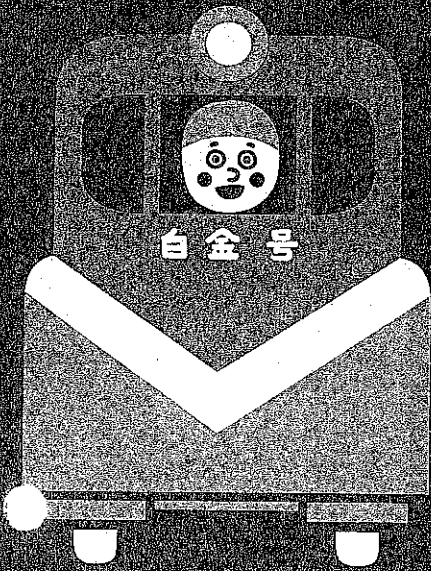
車

ま

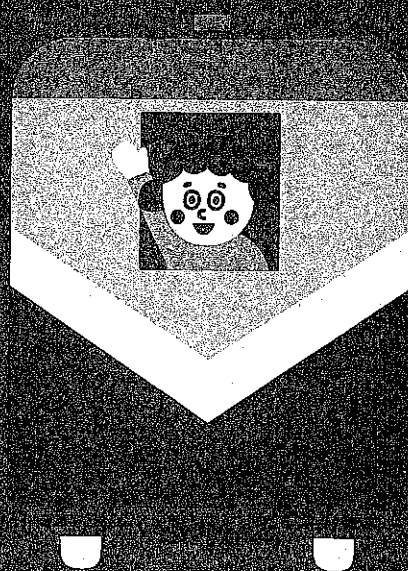
ま

ま

● 2018.10.7 sun 9:00-16:00



しろがね



くろがね



あかがね

一円電車まつり

2018.10.7 sun 9:00-16:00
兵庫県養父市 大屋町明延

おまつり広場

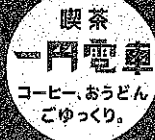
楽しいイベントやっています！
特産品・農産物販売など、
おいしい食べ物も揃っています。

- ・バザー 10:00~15:00
- ・ライブ 12:00~15:00
- ・スタンプラリー抽選会 15:00~
- ・もちまき 15:30~

あけのべ憩いの家

ワークショップやイベント
やっています！

- ・ペーパークラフト教室
材料費 300円
- ・須永秀夫の一円電車模型展
- ・電車のおもちゃで遊ぼう
9:30~15:00



明延鉱山の坑道見学

国の近代化産業遺産に
指定されている探検坑道。

- ・受付時間 9:00~15:00
- ・見学時間 約1時間
- 高校生以上 1,200円
- 小中学生 600円

一円電車の体験乗車

ガタンゴトンと走る、
ちいさなかわいい一円電車、
くろがね号に乗ってみよう。

9:00~16:00
乗車寄付金 1円

スタンプラリー

鉱山の面影を残す、
あけのべを歩いてみよう。
特製缶バッジプレゼント！
抽選で養父市特産品を進呈。

9:30~15:00
参加費 100円 先着 200名

明延ミュージアム「第一浴場」

元鉱山の共同浴場。

- ・鉱山用具や鉱石などを展示
- ・Nゲージの鉄道模型の実演

9:30~15:00 入場無料

北屋長屋杜宅の見学会

当時のままの昔懐かしい
雰囲気があじわえます。

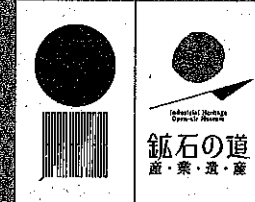
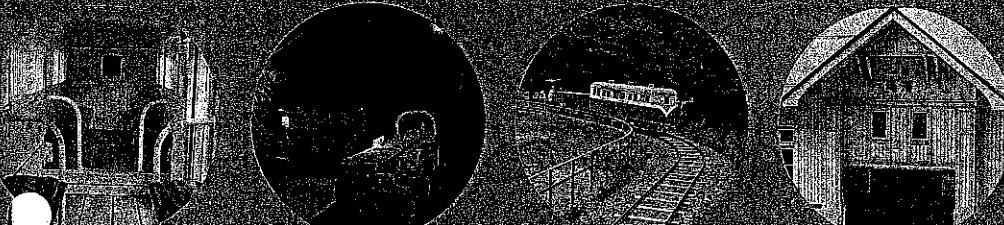
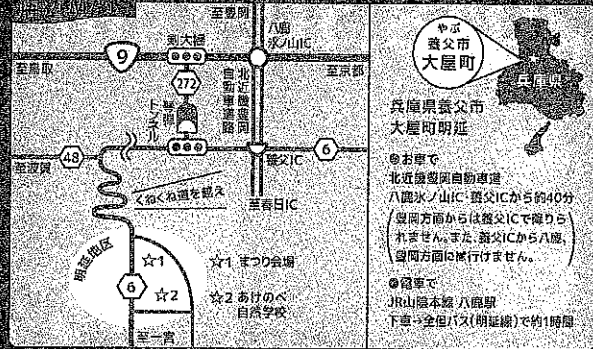
- ・写真、パネルの展示

9:30~15:00 入場無料

空き家活用イベント

川治いや山肌に張り付いた
独特な空き家を活用して、
明石高専や阪南大学の学生が、
バザーや展示を行います。

9:30~15:00



【お問い合わせ】「鉱石の道」明延実行委員会事務局 養父市大屋町大屋市場20-1 大屋地城局内 TEL079-669-0120
 【主催】「鉱石の道」明延実行委員会・明延区・NPO法人一円電車あけのべ・養父市 【後援】兵庫県但馬県民局・鉱石の道推進協議会・明谷自治協議会
 【協力団体】国立明石工業高等専門学校建築学科工務研究室・阪南大学国際観光学部和泉ゼミ・養父市消防団大屋方面隊

詳しくは
明延鉱山 検索して
みてね

養父市記者発表資料（ 発表 ・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者）
9月10日（月）	企画政策課	079-662-7602	企画政策課長 谷徳充 （企画政策課 田村）
【報道解禁】新聞： 月日（）朝刊 テレビ・ネット： 月日（）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

やぶパートナーズ(株)元社員の地位確認等請求事件の和解について

平成28年6月27日に受理いたしましたやぶパートナーズ(株)を被告とする地位確認等請求事件につきまして、平成30年9月7日（金）原告との和解をしました。

○和解に関する市長コメント

本件については、2年余り訴訟が続いていましたが和解成立しました。

今後も、やぶパートナーズ(株)は、地域公共会社としての役割を果たし、養父市の発展に大きく寄与してもらいたいと思います。

○経過

- 平成28年4月6日 労働審判申立書受理
- 5月18日 同申立を取下げ
- 6月27日 訴状受理（地位確認等請求事件）
- 7月13日 反訴状提出（損害賠償請求反訴事件）
- 平成30年9月7日 和解

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
9月10日（月）	養父市教育委員会 学校給食センター	079-664-1801	学校給食センター所長 井垣信子 （栄養教諭 井口留美）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

「但農給食の日」実施について
～ 命をつなぎ、絆をつむぐ～

1 事業概要

兵庫県立但馬農業高等学校（養父市八鹿町高柳 300-1）で生産された農畜産物（野菜、鶏肉（ムネ肉））を使用した給食を市内 13 校（小学校 9 校、中学校 4 校）に、約 2,000 食を提供する。

また、同校 3 年生の生徒が市内の小学校と中学校へ赴き、食材・野菜等にまつわる話をする。訪問先の小学校と中学校では、ランチルーム等で喫食前に 5 分間程度の話をし、その後児童生徒と共に喫食する。

2 趣旨

地元の農業高校で先輩が生産した農畜産物を市内の小中学生が感謝の心をもって味わいながら給食で食べることにより、野菜や鶏からいただいた「いのち」で自分たちの体がつくられていることを認識する。また、世代を超えて小中学生と高校生、保護者等の相互の絆をつむいでいくことで、食育の推進や地産地消の普及及び地元愛の醸成を図ることを目的とする。

・献立内容：但農夏野菜チキンカレー

きゅうりのピリカラ

麦ごはん、牛乳、二十世紀梨

・但馬農業高校からの提供食材

南瓜 80 kg 玉葱 100 kg なす 32 kg 人参 16 kg ピーマン 10 kg

鶏ムネ肉 56 kg 小松菜 20 kg

・と き：平成 30 年 9 月 13 日（木）給食時（概ね 12 時から 13 時）

・と ころ：養父市内小中学校、但馬農業高校生徒の訪問校（伊佐小学校、養父中学校）

◇問い合わせ先◇

養父市学校給食センター 〒667-0114 養父市小城 597-1

電話 079-664-1801

養父市記者発表資料（資料配布）

養父市記者発表資料（資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
9月10日 （月）	市民生活部 公民館	079-662-6141	公民館長 雲田 裕史 （主幹 上垣卓也）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

第15回養父市吹奏楽祭の開催について

- 1 事業内容 養父市内の小学校、中学校、高等学校、社会人の吹奏楽を愛好する仲間が一堂に集い、日頃の練習の成果を発表します。また、同じ楽譜、同じ楽器での迫力ある合同演奏もあります。世代を超えた楽しいステージをぜひお楽しみください。
- 2 と き 平成30年9月30日（日）午後1時30分開演（午後1時開場）
- 3 ところ 養父市立八鹿文化会館ホール（養父市八鹿町八鹿1675）
- 4 入場料 無料
- 5 出演者（出演順）
 - ① 八鹿高等学校吹奏楽部
 - ② 但馬農業高等学校吹奏楽部
 - ③ 八鹿青溪中学校吹奏楽部
 - ④ 関宮中学校吹奏楽部
 - ⑤ ウィンドメーカーズおおや
 - ⑥ 関宮小学校金管バンド
 - ⑦ 養父中学校吹奏楽部
 - ⑧ なんたん吹奏楽団
 - ⑨ 大屋中学校吹奏楽部
 - ⑩ 養父金管バンド
 - ⑪ 合同演奏（小・中学生）
 - ⑫ 合同演奏（高校生・社会人）
- 6 主催者 養父市吹奏楽祭実行委員会・養父市・養父市教育委員会
- 7 参考資料 別紙チラシ
- 8 問い合わせ先 養父市立八鹿公民館（担当：上垣、尾崎）
〒667-8651 養父市八鹿町八鹿 1675
電話 079-662-6141 ファックス 079-662-3201

第15回 養父市 吹奏楽祭



出演団体〔出演順〕

八鹿高等学校吹奏楽部 但馬農業高等学校吹奏楽部
八鹿青溪中学校吹奏楽部 関宮中学校吹奏楽部
ウインドメーカーズおおや 関宮小学校金管バンド
養父中学校吹奏楽部 なんとん吹奏楽団
大屋中学校吹奏楽部 養父金管バンドクラブ

平成30年**9月30日**(日) 13時開場
13時30分開演

養父市立 **八鹿文化会館ホール**

入場無料
全席自由

主催 養父市吹奏楽祭実行委員会 養父市 養父市教育委員会
後援 養父市文化協会



養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
9月10日（月）	危機管理室 防災安全課	079-662-2899	防災安全課長 津崎宏行
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

「避難所運営の応援に関する協定書」の締結について

標記のことについて、養父市と八鹿町退職者協議会、養父自治同友会、大屋町役場職員OB会及び関宮町役場職員OB会（旧町毎の市役所職員OB会）は、災害発生時における避難所運営の応援に関する協定を締結することとなり、その調印式を下記のとおり行いますのでお知らせします。

記

1. 目的

養父市内で地震、風水害その他の災害が発生した場合、発生に備える場合、また避難所運営などが長期化した場合などの際、養父市が行う災害業務につき、市役所OBに対して応援協力を要請し、災害業務に従事する市職員の負担軽減を図ることを目的として、締結するものです。

主な業務は、有事の際に開設した指定避難所において、運営に関する補助的なボランティア活動としています。

2. 締結先

- ・養父市 市長 広瀬 栄
- ・八鹿町退職者協議会 会長 勝地 恒久
- ・養父自治同友会 会長 山口 紀男
- ・大屋町役場職員OB会 会長 和田 金男
- ・関宮町役場職員OB会 会長 谷本 昇

3. 締結日時 平成30年9月13日（木）午前8時30分～

4. 締結場所 市長室

6. 添付資料

- ・別添締結文
- ・別添締結式次第

「避難所運営の応援に関する協定書」締結式

と き 平成30年9月13日(木)

午前8時30分から

ところ 市長室

1 開 会

2 出席者紹介

- | | | | |
|-------------|----|----|----|
| ・養父市 | 市長 | 広瀬 | 栄 |
| ・八鹿町退職者協議会 | 会長 | 勝地 | 恒久 |
| ・養父自治同友会 | 会長 | 山口 | 紀男 |
| ・大屋町役場職員OB会 | 会長 | 和田 | 金男 |
| ・関宮町役場職員OB会 | 会長 | 谷本 | 昇 |

3 趣旨の説明

4 協定書交換

5 あいさつ

- | | | | |
|---------------------------|----|----|----|
| ・養父市 | 市長 | 広瀬 | 栄 |
| ・職員OB会を代表して、
八鹿町退職者協議会 | 会長 | 勝地 | 恒久 |

6 閉 会

避難所運営の応援に関する協定書

養父市

八鹿町退職者協議会

養父自治同友会

大屋町役場職員OB会

関宮町役場職員OB会

(補償)

第6条 第3条業務遂行中に生じた乙の負傷疾病に係る補償は、甲が加入する全
国町村会総合賠償補償保険での対応とする。

(疑義の決定)

第7条 この協定に定めのない事項及びこの協定に関して疑義が生じたときは、
甲乙協議して定めるものとする。

(有効期間)

第8条 この協定の有効期間は、締結の日から平成31年3月31日までとする。た
だし、この期間満了の1か月前までに甲乙いずれかから協定解除の申し出がな
いときは、さらに1年間延長するものとし、その後も同様とする。

この協定の締結を証するため、本書5通を作成し、甲、乙記名押印の上、各自そ
の1通を保有する。

平成30年 月 日

甲 養父市八鹿町八鹿 1675番地

養父市長 広瀬 栄

乙 八鹿町退職者協議会 会長 勝地 恒久

養父自治同友会 会長 山口 紀男

大屋町役場職員OB会 会長 和田 金男

関宮町役場職員OB会 会長 谷本 昇

避難所運営の応援に関する協定書

養父市（以下「甲」という。）と八鹿町退職者協議会、養父自治同友会、大屋町
役場職員OB会及び関宮町役場職員OB会（以下「乙」という。）は、災害時等に
おける支援協力に関し、次のとおり協定を締結する。

(趣旨)

第1条 この協定は、養父市内で地震、風水害その他の災害が発生した場合又は発
生に備える場合において、甲が乙に対し避難所運営の応援を要請し、災害業務
に従事する市職員の負担軽減を図ることを目的とすることについて、必要な事
項を定めるものとする。

(協力の要請)

第2条 甲は、大規模な災害が発生した場合等において避難所運営の応援の必要
が生じたときに、乙に対して協力を要請することができる。

(業務の範囲)

第3条 乙が行う業務は、次の各号に掲げる業務とする。

- (1) 甲が行う養父市内の拠点避難所運営に関する補助的なボランティア活動
- (2) その他甲が必要と認めること。

(要請の手続等)

第4条 第2条の要請は、行政支援業務の内容、場所、期間等を明示した避難所
運営の応援に関する要請書（様式第1号）によるものとする。ただし、緊急を
要する場合は、電話等により要請することができる。

2 甲は、前項ただし書の規定による要請をしたときは、当該要請の後、速やか
に前項の書面を乙に提出しなければならない。

3 甲及び乙は、連絡体制、連絡手段等について、業務に支障を来さないよう平
常時から連絡調整に努めるものとする。

(費用の負担)

第5条 第3条の業務において必要となる交通費及び食事代等の経費は、乙の負
担とする。